

平成 22 年 5 月 18 日現在

研究種目：若手研究 (B)
研究期間： 2007 ~ 2010
課題番号：19730538
研究課題名 (和文) 生涯キャリア発達を支援する就学前段階からのキャリア教育プログラムの開発
研究課題名 (英文) Development of the Career Education Program from Preschool Stage that Supports Life Career Development

研究代表者

河崎 智恵 (KAWASAKI TOMOE)
奈良教育大学・教育学部・准教授
研究者番号：50346300

研究分野：社会科学
科研費の分科・細目：教育学・教科教育学
キーワード：進路指導・キャリア教育・キャリア発達

1. 研究計画の概要

本研究では、就学前段階からのキャリア教育モデルとプログラムを開発することを目的とする。この目的のために、以下の5つの研究を行う。

(1) 国内外のキャリア発達・教育に関する文献調査

就学前段階からのキャリア発達の枠組みを構築するために、キャリア発達・生涯発達・キャリア教育に関する文献、および国内外のカリキュラム等を詳細に検討する。

(2) キャリア発達に関する質的および量的調査

有職青年を対象としたインタビュー（追跡調査）を実施する。卒業後の社会人を対象とし、キャリア発達の様態およびプロセスについて追跡調査を実施する。質問項目は、キャリア発達の様態、将来のキャリア開発への態度、必要とするキャリア支援、職業・家庭・地域生活へのコミットメントの程度、キャリア決定のプロセス等である。

(3) 幼児期からのキャリア教育モデルの構築

研究(1) (2) の成果をふまえて、幼児期からのキャリア教育モデルを提示する。

(4) 先駆的キャリア教育実践の調査

キャリア教育を生涯学習の中で位置づけ、実施しているカナダのキャリア教育実践を調査し、指導方法、評価方法等について明らかにする。

(5) 生涯キャリア発達を支援するキャリア教育プログラムの開発・実践

具体的な教育実践をめざして、生涯発達を支援するキャリア教育プログラムを作成・教育実践の上修正を行う。

2. 研究の進捗状況

(1) 国内外のキャリア発達・教育に関する文献調査

キャリア発達の理論を整理するとともに、キャリア教育教科書「Developing Career and Living Skill」および、ニュージャージー州カリキュラムガイド

「New Jersey Core Curriculum Content Standards Horizontal Design for Career Education and Consumer, Family, and Life Skills」等の分析を行った。

(2) キャリア発達に関する質的および量的調査

就業前である大学生を対象とし、職業や将来に対する意識・キャリア決定プロセスについて、質的調査を行った結果、キャリア決定プロセスにおいて暫定的決定経験の有無が要となることが示された。また、卒業後の有職青年のキャリア意識に関する質問紙調査の結果、暫定的決定経験が卒業後のキャリア意識にも、強い影響を及ぼすことが明らかになった。さらに、中学校段階で暫定的決定経験のある者の方が、ない者よりも、キャリアの諸能力の得点が有意に高かった。以上の結果より、暫定的決定がキャリア発達上、特に重要な意味を持つことが確認された。

(3) 幼児期からのキャリア教育モデルの構築

(1)(2)の研究成果をもとに、「自己理解」「人間関係」「意思決定」「就労活動」「生活経営」「キャリアデザイン」の6能力領域からなる、ライフキャリア能力の構造化を行った。構造化した能力概念に基づき、就学前段階から大学までのカリキュラムモデルを構築した。

(4) 先駆的キャリア教育実践の調査

カナダの研究者との研究交流により、キャリア教育実践について検討を行った。

(継続中)

(5) 生涯キャリア発達を支援するキャリア教育プログラムの開発・実践

得られた知見をもとに、卒業後のキャリア発達を支援する中学校キャリア教育プログラムを作成し、授業実践を行った。プログラム実施後に全ての能力領域で得点の上昇が認められ、多くの生徒が職業や将来について興味や展望を抱くという結果を得られた。これらの結果より、作成したプログラムには教育的効果があると判断できた。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

研究(1)(2)の成果として、生涯発達の視点から、学校卒業後に必要なキャリア教育の課題を明らかにすることができた(成果論文 2.) また、研究(3)の成果として、就学前段階からのキャリア教育のカリキュラムモデルを構築し、本結果を現在学会誌に投稿中である。さらに、研究(4)(5)の成果として、生涯キャリア発達を支援する中学校キャリア教育プログラムの開発・実践を行った。(成果論文 1.)

4. 今後の研究の推進方策

現在までに、先駆的キャリア教育実践について調査を行ってきたが、さらに現地調査を行うことにより、教育方法等の、実践に結ぶ知見を得る。それらの成果をもとに、キャリア教育モデル、カリキュラム、プログラムの修正の上、全体的考察を行う予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

1. 河崎智恵・川端亜紀子, 卒業後のキャリア発達に寄与するキャリア教育の検討ー中学校におけるキャリア教育プログラムの作成ー, 奈良教育大学教職大学院紀要 学校教育実践研究 No1, 39-48, 2009 年
2. 川端亜紀子・河崎智恵, 大学生のライフストーリーにみるキャリア決定プロセス, 奈良教育大学紀要 No57, 181-190, 2008 年

[学会発表] (計 1 件)

1. 河崎 智恵, 教員養成系大学におけるキャリア教育の展開ー奈良教育大学の実践を中心にしてー日本キャリア教育学会第 29 回研究大会 2007 年 10 月 28 日, 多摩美術大学

[図書] (計 2 件)

1. 仙崎 武, キャリア教育リーダーのための図説 キャリア教育、雇用問題研究会 2010(238 頁)
2. 仙崎 武, キャリア教育の系譜と展開ー教育再生のためのグランド・レビュー, 2008 (241 頁)